

授業科目 緩和ケア看護学

【担当教員名】  手島 美子		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○		○	
【概要・一般目標：G10】 緩和・ターミナルケアを必要とする対象を理解し、緩和・ターミナル期の経時的变化に応じた適切な患者・家族の援助法を習得する。机上のモデル事例による看護問題を捉え、患者・家族の必要とする看護計画とトータルケアの検討および看護技術法を演習し習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 緩和ケア・ターミナルケアの考え方と看護の役割を理解する。 2. ターミナル期にある人の特徴を理解し看護援助を習得する。 3. ターミナル期にある人の症状緩和や緩和ケアにおける苦痛や苦悩を軽減しQOLの獲得を図る。 4. ターミナル期のコミュニケーションを図り、ニーズ把握、自己決定、倫理的問題の擁護を支援する。 5. グリーフワークの必要性を理解し、家族・遺族に対するケアを習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	緩和・ターミナルケアの考え方と看護の役割			1.2	講義
2	ターミナル期にある対象の特徴と理解			1.2	講義
3	ターミナル期にある対象の看護援助			1.2	講義
4	ターミナル期における緩和ケアの実践法			3.4	講義
5	症状マネジメント			3.4	講義 演習
6	症状マネジメント			3.4	講義 演習
7	疼痛緩和のための薬物療法 疼痛コントロール			3.4	講義 演習
8	グリーフワーク・家族・遺族のケア 緩和・ターミナルに必要な看護技術演習			4.5	講義 演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		緩和・ターミナルケア看護論 緩和ケア		ヌーベルヒロカワ 医学書院	
その他の資料		必要に応じて資料を配布する			
【評価方法】 レポート(40%) 定期試験(60%)			【履修上の留意点】 文献を活用し、自己に知識を深めること。		